

# 中美研会報 No. 145

2021.3.12 中越美術教育研究会 事務局／長岡市豊詰町227 長岡市立上組小学校 〒940-1142 ☎(0258)22-0959 印刷／樺中央印刷

## 今年度の活動を振り返って

中越美術教育研究会 会長  
目黒 由美



「今だから、中越美術教育研究会の力を」。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度。当研究会にとって、美術教育の意義、美術教育を推進する立場としてのあり方など、改めて深く考えさせられる貴重な1年となりました。

今年度の事業を計画するにあたり、開催が可能かどうか、開催するならばどのような配慮が必要かなど、決定するまで様々な壁が立ちはだかっていました。しかし、その壁も、「中美研の底力」を信じる当研究会会員の熱い思いによって、一つ一つ乗り越え、成果を収めることができました。

8月に開催した「夏季研修会」においては、県内の保幼・小・中・高・特別支援学校、行政関係者と、幅広い校種の70名にも及ぶ参加者が集いました。新学習指導要領の実施にあたり、より質の高い鑑賞活動を目指し、体験をとおしながら語り合い、学び合うことができました。

12月には、「中越教育美術展審査会」を行いました。感染症対策による教育課程の再編、作品制作への影響を考慮し、例年より一月ほど開催を先送りしました。応募作品数は約3万点と、昨年を上回る実績が得られました。

教育活動が制限される中、寄せられた作品は、明るく伸び伸びと、子どもたちの躍動感があふれていました。指導過多であったり放任であったりすることなく、目の前の子どもの思いを、身を重ねるようにして感じ取りながら、創意工夫して授業づくりに取り組む教職員が広がっている証であると、うれしく思っています。

2次審査にあたってくださった大学の先生方も、本美術展に息づいている文化と子どもたちの育ちを高く評価し、さら

に期待を高めてくださいました。

審査会後に行っていた特別賞授賞式、受賞作品の展覧会は、感染症拡大防止の観点から、残念ではありますが取りやめました。

しかし、子どもたちのすばらしい作品を広くたくさんの皆さんに見てもらいたい、教職員の授業づくりの参考にしてもらいたいという願いを実現させようと、今年度は、「特別賞・特選作品 写真集」を作成しました。910点の特別賞・特選作品を、17枚にわたるリーフレットに掲載しました。県内の出品してくれた校・園、中越管内の全ての小・中学校に配付しましたので、ぜひ、校内に掲示するなどして活用いただけることを願っています。

2月には、「教職員美術展2021」を開催しました。ご退職された皆様や小・中・高の教職員の方々から、53点の出品をいただき、今年度も、多彩で見応えのある展覧会となりました。

来場者も昨年を上回り、「コロナ禍の中、時間を見つけて制作に励まれた努力に敬意を表します。」「何となく催しが減っている今、思いがけず素敵な展覧会でした。」など、アンケートをとおして励みとなる言葉を多数いただきました。

3月には、「中越教育美術展作品集 第30集」を刊行し、この「会報」を発行しました。

美術が、心を潤し、人と人をつなぐ大切なものであることを、改めて実感した1年でした。

会員の皆様の工夫と努力、協力のお陰で、図工美術教育の発展につながる充実した取組ができましたことに、心からお礼申し上げます。

事業の開催にあたっては、新潟県教育委員会や長岡市教育委員会からご後援をいただき、また新潟日报社や新潟県教職員厚生財団、日本教育公務員弘済会新潟支部から多大なご援助をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

## 令和2年度 中越美術教育研究会 事業内容

### ●第1回 理事会

・令和2年5月29日(金) 上組小学校  
会務決算報告・予算事業計画審議等

### ●研究部会

・令和2年6月24日(水) 上組小学校  
夏季研修会事前準備

### ●「第53回 夏季研修会」

・令和2年8月7日(金)  
見附市立西中学校  
・参加者70名

### ●教職員美術展 第1回 実行委員会

・令和2年8月19日(水) 上組小学校  
美術展計画

### ●第1回 美術振興部会

(中美展委員会・広報委員会)  
・令和2年8月19日(水) 上組小学校  
審査会計画・作品集・会報原稿依頼等

### ●中美展一次審査会

・令和2年12月4日(金) 上組小学校  
審査員32名

### ●中美展二次審査会

・令和2年12月15日(火) 上組小学校  
上越教育大学 教授 松本 健義 様  
新潟大学 教授 丹治 嘉彦 様  
新潟大学 准教授 田中 咲子 様

### ●教職員美術展 第2回 実行委員会

・令和2年12月15日(火) 上組小学校  
教展展案内発送等

### ●第2回 中美展委員会

・令和2年12月15日(火) 上組小学校  
作品写真集計画

### ●第2回 広報委員会

・令和2年12月15日(火) 上組小学校  
中美作品集計画

### ●「教職員美術展2021～第26回～」

・会期 令和3年2月3日(水)～7日(日)  
長岡市美術センター  
2日(水)展示作業  
7日(日)撤去作業  
・出品点数 53点  
・来場者数 523人

### ●第3回 広報委員会

・令和3年2月12日(金) 上組小学校  
中美作品集の校正

### ●第2回 理事会

・令和3年2月26日(金) 上組小学校  
各事業の反省と次年度への提言

### ●「第56回 新潟県中越教育美術展・作品集」刊行

・作品集 第30集 発行  
・中美研会報145号 発行

## 第53回 夏季研修会報告

## 「広げよう！アートカードの可能性」

研究部長 長岡市立柿小学校 永井 毅人



【講師】 研究部 青木 善治（三条・栄北小学校） 齊藤 博文（見附・西中学校）

【日時】 令和2年8月7日(金) 14:00～16:00

【会場】 見附市立西中学校 図書室

【参加者】 県内の小学校より41名 同中学校より22名 同特別支援学校より3名 同幼稚園・保育園より2名  
同高等学校より1名 同行政（県立近代美術館）より1名 合計 70名

【参加者のアンケートより】

講座の満足度 とても満足 97% まあ満足 3% やや不満・不満ともに0%

## 参加者の感想（抜粋）

- ・ 他校種の現場で働く先生方と研修でき、世代の違う子どもの見方にも触れられ、絵の見方が広がった。
- ・ アートカードの使い方をたくさん知ることができた。データももらえて助かった。このご時代に体験型の研修に感謝です。
- ・ 小学校、中学校バージョンとご提案いただき、それぞれの使いそうなところを学ばせてもらった。
- ・ （自分は小学校だが）中学校の実践も参考になった。特に「好きなカード当てゲーム」は、大人がやってもとても楽しかった。ただ友だちの作品を見るだけではなく、作家の作品をじっくり見る場も必要だなと感じた。
- ・ カードの存在は知っていたが、使い方を考えるところまで至ってなかったので、先駆者に会えてよかった。こういう鑑賞のあり方もよい。でも授業時間の関係で実施するタイミングが難しいとも感じた。
- ・ おもしろさ、楽しさを味わいながら、遊び感覚でゲームをしながら自然に芸術作品を深く観察する態度を養っているところに感銘を受けた。お堅い印象の芸術作品を身近に感じることができた。
- ・ 幼児教育の現場でも、5歳児なら活用できると思った。鑑賞の楽しさを小さいころから味わわせたい。
- ・ カードを使い、幼児も思っていることを自然に話せるようになることを期待したい。
- ・ 特支の生徒はコミュニケーションが難しいことが多いので、内容をアレンジしてみたい。
- ・ 特別支援学校には、言葉で表現することが苦手な子や自信のない子も多くいる。カードを使った対話型鑑賞で、少しでも自分の気持ちを言葉で言えるようになればと思う。
- ・ モジュールの学習タイムがあるので、そこでアートカードの活動をしてみたい。
- ・ アートカードの活動により、アートのみならず、説明する力、ひらめき、共感、自由さ・・・これらは自己有用感につながる。
- ・ グループ活動の人数編成が多様にできる。なかなか関わりのない子同士をつなげられると思った。
- ・ 校内の掲示は子どもたちの刺激になる。一度見たものには親しみがわく。本物を見た時、さらに感動するから、美術館の活用も併用して、たくさん触れる機会をもつことの大切さを改めて感じた。

小学校の新学習指導要領が全面実施となる今年度、「アートカード」を活用した様々な鑑賞活動を実際に体験する研修を企画しました。「アートカード」は、県内小学校で広く採択されている日本文教出版教科書の教師用指導書資料の一つにもなっており、小学校版はそれを活用しました。中学校版は、当会研究部の齊藤先生が平成29年度の県美大会「造形五・十の市」で実践紹介した時のカードを、さらに充実させたものです。

大勢の参会者を得、新型コロナウイルス禍の中でも薄れない参会の皆さんの研修への意欲と希望を改めて感じました。グループで活動を楽しむ中で、造形的な見方・考え方を働かせながら感じたことを他者と伝え合ったり、他者の感性に感心したりと、カードの美術作品を介して「対話的で深い学び」がグループ内に成立する様を実感し、現場での実践に思いを馳せる姿がたくさん見られました。

研修内容を考案し、レクチャーくださった青木・齊藤両先生、充実した美術科経営のうかがえる校舎を会場として提供くださった見附市立西中学校様、そして何よりも本研修会に県内各地から参加され、すてきな語り合いを共にできた皆さんのおかげで、充実した研修会になりました。ありがとうございました。



## 「楽しく鑑賞する指導のアイデア ～アートカードを用いた鑑賞 活動から～」研修会を終えて

三条市立栄北小学校 青木 善治

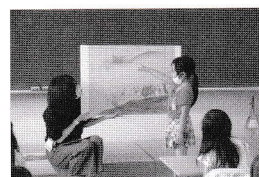


2020年8月7日新型コロナウイルス禍の状況ではありましたが、見附市立西中学校の広く快適な図書室において、夏期休業中にアートカードを活用した研修会を小・中学校編の2部構成で実施することができました。アートカードは全国の美術館で作成されており、貸し出しも行っている美術館もありますが、日本文教出版「図画工作教師用指導書」には、低・中・高学年毎に40枚のアートカードが3セット付随しています。絵画だけでなく、写真、シルクスクリーン、工芸品など、作品の表現方法が多岐にわたっており、子どもが興味・関心を抱きやすいものとなっています。ただし、多くの教師自身が「アートカード」を用いた活動を経験していないことから、使い方がよくわからず授業において活用しにくい状況です。そこで、アートカードの優れた特徴「人数や場に応じて多様な学習が工夫できる。認め合いのコミュニケーションが活性化等」を説明した上で実施しました。

アートカードゲームは、鑑賞「活動」そのものを楽しみながら思考・判断し、表現することを「学習」する鑑賞「教育」です。様々な方法がありますが、具体例として、まず、グループ毎にアイスブレイクも兼ねて、「私の今の気持ち」にぴったりなカードを選び、その理由も聞き合いました。主に以下のアートカードゲーム内容で実施しました。



①私の今の気持ち、②気になる一枚、③お話づくり（3枚を選んで）、④カレンダーづくり（4枚を選んで）、⑤マッチングゲーム・にたものつながり等を、グループ毎に楽しみながら実施していただきました。そして、最後に、アートカードを拡大投影または印刷して朝学習の時間を活用して当校で実践している⑥対話型鑑賞（朝鑑賞）の魅力について紹介しました。その結果、参加者のアンケートには、以下の感想などが記されました。いくつか紹介します。



- ・初めて使い、楽しさが分かった。自分自身が楽しめ、笑えた。
- ・様々なゲームをグループで体験することで、アートカードの有効性を共有できた。グループで会話も弾み楽しかった。
- ・自分が体験して、感情を、感じ取ったことを言葉に表現してグループの人に話し、共有できたことがうれしかった。
- ・グループの人といろいろ話ができ、絵の見方が広がった。
- ・アートカードの可能性がたくさん感じられた。児童の自己肯定感の向上、学力の向上にも役立ちそうだと感じた。
- ・カードを使うことで対話的で深い学びをすることができるのは発見だった。しかも人間関係づくりにも役立つなんてすばらしい。

アートカードや対話型鑑賞による鑑賞活動は、正解や不正解もなくすべてが受け入れられる活動なので、自己肯定感や表現力も得られ、見方や感じ方、考え方が広がりやすい活動です。教師にとっても、自分の見ていることや感じていることが決して全てではないということを体感することができる魅力的な活動です。今後も様々な活用方法を、学び合っていきたいと考えています。

## アートカード教材制作と 実践について

見附市立西中学校 斉藤 博文



中学校の美術教師は授業では、つい制作に重点をおいてヒートアップしてしまいがちです。作品をつくる時間を意地汚く1時間でも多く取りたいと考えるのです。だから「鑑賞」は大事だと分かってはいるものの、二の足を踏む（個人の感想です。笑）。それでも、なんとかして生徒たちにすぐれた作品を紹介したり、人生を豊かにする美術的教養を身に付けさせたりしたいと考えていましたが、世の中にアートカードなるものがあることを知り、使ってみようと思いました。しかし、市販のものは値段が高くて作品数が少なく、私の偏向した趣味にも合うものがない。では、なかったらつくればよいと思ってつくってみたのが夏の研修会で紹介し、出席者にデータを差し上げたカードです。古今東西の名作の画像をPAINTに貼り付けて作品名、作者名、制作年等を加え、123枚のカードにしました。象徴主義とかラファエル前派とか、かなり私の趣味も入っていますので、カードのデータを持っている方は不要なものを削除したり、自分が欲しいものを付け加えたり自由にアレンジしてください。



さて、使い方（ゲームの仕方）ですが、生徒は5、6名くらいのグループにし、カードは多すぎるので二山に分けます。写真は研修会で参加者

がゲームをしている様子です。1グループ60枚くらいを使い、途中で山をチェンジします。一番初めにやるのが「カード当て」です。一人が他に分からないように選んだカードをメンバーが「それは女の人が描いてありますか？」などと質問を何回か繰り返して当てるものです。質問の答はハイかイエのどちらかです。とても盛り上がります。その他いろいろと遊び方がありますが、2時間くらい遊ぶと頭の柔らかい中学生はけっこう作品を憶えたり、自分の好みの作品を見出したりします。カードだけだと小さすぎるので、私は少し大きく印刷して掲示したりもします。3年間やると、掲示板の前で上級生と下級生で「私はこれが好き」「キースヘリングっていいよね」とか会話するようになります。アートカードはコミュニケーションツールでもあります。



カードゲームだけでなく、そこから発展させて鑑賞的な作品制作に結びつける例を紹介します。写真の作品のように、「ゼンタングル」を使って自分たちが好きな作品を再現します。作品データを白黒に分解して、輪郭を写し取り、黒い部分にゼンタングルを施したものです。大きさはA3コピー紙9枚分で、7～8人くらいのグループの共同作品です。ワイワイと楽しみながら模様を埋め、出来上がったときは達成感と驚きを味わえます。どの作品にするか決めるまでのグループの話し合いも楽しみです。

研修に出席していなくても、やってみたい方にはデータを差し上げます。遊び方の例もいくつか入っています。御連絡ください。

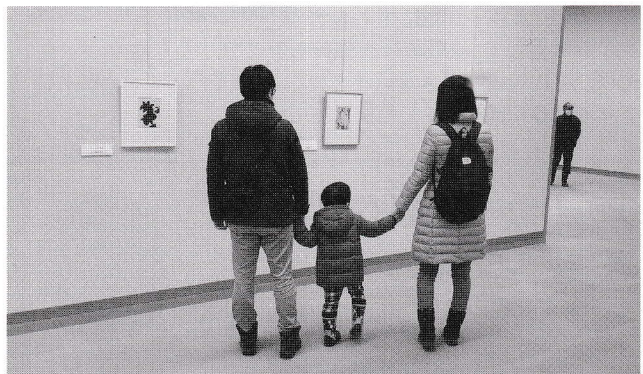
# 中越教職員美術展2021 ～第26回～

- 会期／令和3年2月3日(水)～7日(日)
- 会場／長岡市美術センター(長岡市立中央図書館2階)
- 主催／新潟県中越美術教育研究会

- 後援／長岡市教育委員会 新潟日报社  
一般財団法人新潟県教職員厚生財団  
公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部

No.	題名	出品者
1	霧立妙高2	F50 池上 秀敏 元教職員
2	奥奥入瀬 I	F10 結城 和廣 元教職員
3	奥奥入瀬 II	F10 結城 和廣 元教職員
4	思い出の街角 2018B	90×110 藤本 市郎 刈羽・刈羽中学校
5	セメント工場	F100 石川 吉郎 元教職員
6	母の像	F100 高井 将行 出雲崎高校
7	魚野川河岸待春	F50 水落 裕子 元教職員
8	魚野川河岸早春	F50 水落 裕子 元教職員
9	騎士の夢	変形 25号 阿部 勝則 十日町総合高校
10	智・感・情	変形 100号 阿部 勝則 十日町総合高校
11	風	42×50 柴野ひさ子 元教職員
12	夜想	F20 森山 みさ 堀之内高校
13	女性像	F20 森山 みさ 堀之内高校
14	時の狭間 2021 - 1	51×51 中嶋 均 元教職員
15	時の狭間 2021 - 2	51×51 中嶋 均 元教職員
16	黒い静物	70×90 丸山 一夫 長岡大手高校
17	平面	F20 高橋 淳一 十日町・南中
18	DREAM	F0 池田 義広 長岡・附属長岡中
19	W	A5 鰐淵紀美子 小千谷・東山小
20	散歩に連れてけ	F10 金澤 健志 三条・保内小
21	美人林の舞踊菩薩	F12 上坂 義則 元教職員
22	カチカチ山のサル	A3 三上 祥司 元教職員
23	白馬槍遠望	F10 濁川 徳一 長岡・十日町小
24	冬の日	F10 濁川 徳一 長岡・十日町小
25	「コロナが収まり、来年度はおまつりができたらいいな」	F50 南雲 学 十日町ふれあいの丘
26	若草物語	29×41 飯田美輝夫 長岡近代美術館
27	ローマの休日	29×42 飯田美輝夫 長岡近代美術館
28	mollusk (軟体動物)	45×12 岡本 真梨 長岡・南中
29	春爛漫	F8 岡本 真梨 長岡・南中
30	シンビジウム	F0 五十嵐由美子 小千谷・東小千谷小
31	うつろひ	F0 村山 裕之 十日町・中里中
32	ゆめ2	F0 目黒 由美 長岡・上組小
33	オリジナルデザイン／紙袋	20×27 高橋 淳一 十日町・南中

No.	題名	出品者
34	七宝焼きアクセサリー	22×16 村山真由美 南魚・浦佐小
35	しみわたり	18×14 石黒 裕子 元教職員
36	聖観音	33×10×11 上坂 義則 元教職員
37	海	66×88 藤本 市郎 刈羽・刈羽中学校
38	中宮寺如意輪観世音菩薩像(模刻)	63×63×92 立川 厚生 ギャラリーみつけ
39	姉妹	25×20×43 堀田 正 北陸学園
40	ベレー帽の少女	30×20×48 堀田 正 北陸学園
41	ザ・サンカク	90×90 田村 敏宏 長岡・寺泊中
42	サザンガ・ク	90×90 田村 敏宏 長岡・寺泊中
43	フレアー I	100×100 田中 幸男 小千谷西高校
44	フレアー II	100×100 田中 幸男 小千谷西高校
45	en 愛別離苦	S40 田中 大志 長岡・長岡聾
46	en 五蘊盛苦	S40 田中 大志 長岡・長岡聾
47	塔	25×25×35 齊藤 博文 見附・西中
48	門	35×25×30 齊藤 博文 見附・西中
49	宙	145×103 溝口 敏美 長岡高校
50	コモレビ	38×53 中村 信 見附高校
51	風景・Prism - 1	96×186 中村 信 見附高校
52	移り行く面 - 29	50×47×57 霜鳥 健二 元 高校教職員
53	移り行く面 - 30	60×28×65 霜鳥 健二 元 高校教職員



## 『中越教職員美術展2021』について

中越教職員美術展 実行委員長 村山 裕之



会期：令和3年2月3日(水)～7日(日)

会場：長岡市美術センター

終息の見えないコロナ禍の中での開催に不安もありましたが、関係者の皆様からの支えによって、第26回展も無事開催できました。

例年よりやや少ないものの、523名も来場していただきました。中には、毎年案内ハガキを楽しみにして五泉市から来られたご夫婦もおり、開催して良かったと、しみじみ感じています。

今年の出品者は35名、出品数は53点となりました。各校ともコロナ対策に迫られ、出品者の減少は免れなかったものの、ご出品いただいた皆様の素敵な作品によって例年と遜色なく、会場を彩ることができました。そして、作品同士の間隔を広くとった分、個々の作品の存在感が引き立っていたように思います。

ご退職された先生方の作品は、どれもモチーフや表現の中に人生の哲学のようなものを感じました。中でも池上氏の

「霧立妙高2」は、霧立つ林の奥に、朝焼けに赤く染まる妙高山を臨む画面に、風景画を超えた生命賛歌のように受け止められました。コロナ禍に翻弄されそうな今、大地が放つ大きなエネルギーに力強く生きる活力をもらったような気がしました。高校の先生方の作品は、個展や展覧会に出品予定の新作が多く、熱量の高さを感じました。中学校の先生方の作品は自身の作風を更に追究され、表現に深みがあり、刺激をいただきました。小学校の先生方もサークル研修等で技術と表現に磨きをかけており、銅版画や水彩画等、魅力的な作品にあふれていました。

昨今、県内で教職員美術展を継続しているのは中越だけのように聞いています。中越教職員美術展の伝統と誇りを引き継いでいけるよう頑張りたいと心を新たにしたい展覧会でした。

最後に、この大変な時期に展示や搬入にご協力いただいた皆様、事務局のご尽力並びに葵屋画材店様からの多大なるご協力に、心から御礼申し上げます。